



2020壬生野まつりが開催されました



10月3日(土)~4日(日)の2日間、毎年恒例の壬生野まつりを開催しました。今年は当初からのご案内のとおり開催内容を縮小して、作品展示と図書のリユースに絞って実施しました。

ご来場いただきました皆様には、受付での記名や非接触体温計による検温、また3密を避ける為、展示順路を設け、会場の一方通行にご協力を頂くなど本当にありがとうございました。

今回の展示では、まちづくり協議会の防犯防災部会展示のハザードマップを見て自宅付近の被害想定などに見入る方がたくさんおられました。また、生活環境部会は、ごみ分別ハンドブックを展示しごみ収集制度の確認などを行いました。教育文化部会では原爆のパネル展示とその説明、人権同和部会では、壬生野地域の各自治会で実施している地区別懇談会の様子や成果などを展示しました。

また、サークル団体や老人クラブ、放課後児童クラブなどでは手芸や陶芸、写真をはじめ苔玉や着物のリメイクを展示、介護施設では壁画や塗絵などを展示、また、一般作品では工芸や写真、書や俳句など趣味を生かした作品が展示されていました。1年間、手塩をかけて制作された力作に感動する様子も見られました。かつて、図書の貸出を行っていた、『ときめき文庫』のリユースも好評でしたが、まだまだ在庫があります。今後のイベントの機会にも、再度ご案内させていただきます。

【2面に壬生野まつり作品展示の様子を掲載しています】

今後のまちづくり事業予定

月 日(曜日)	行事名	場 所	摘 要
11月 8日(土)	壬生野ハイキングウォーキング	目的地:白藤の滝	フレッシュ壬生野部会
11月 13日(金)	臨時総会	地区市民センター	補助事業の追加
11月 29日(土)	人権フィールドワーク	檀原市おおくぼまちづくり館	人権同和部会
12月 5日(土)	総合防災事業視察研修	和歌山県土砂災害啓発センター	防犯防災部会
12月 6日(日)	年末の環境美化活動	壬生野地域全域	生活環境部会
12月 25日(金)	(仮称)いがまちクリスマスコンサート	いがまち公民館小ホール	いがまちまちづくり協議会

2020壬生野まつり作品展示の様子



ため池ハザードマップ



ときめき文庫のリユース



“みぶっこ”の手芸・工芸



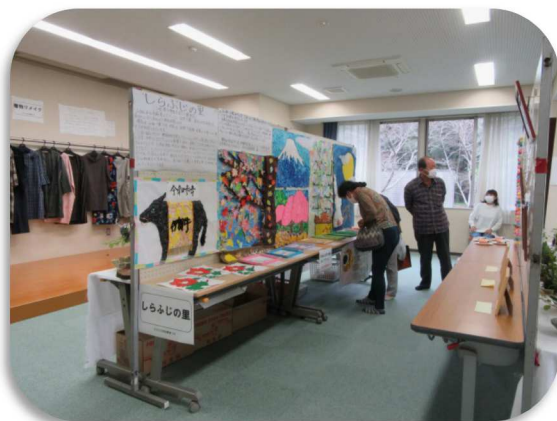
『原爆と人間』パネル



一般作品(写真・書道・俳句・工芸)



サークル(手芸・苔玉)



しらふじの里(壁画・塗絵)



サークル(陶芸・着物リメイク)

総合防災訓練事業講演会が実施されました



10月15日(木)、壬生野地区市民センターにおいて三重大学大学院工学研究科(工学博士)川口淳准教授をお招きしてまちづくり協議会運営委委員さんを対象とした防災講演会を開催しました。この講演会は、今年度から3ヶ年で取組む壬生野地域総合防災訓練事業のキックオフとなるものです。

冒頭、亀井直文会長から、「今回は総合防災についてのお話を伺います。壬生野地域の自主防災は各自治会を単位としては実施をしている。しかし、壬生野地域として訓練をしているか?と言えば全体としてはやっていない。壬生野地域として、何らかのアクションが必要と考え、伊賀市の『キラッと輝け!地域応援補助金事業』の採択を受けて3年間で実施します。今日がその最初の事業です。今年度は他に防災事業の先進地視察研修や図上訓練を実施して、来年度に避難訓練や避難所運営訓練を実施したいと考えています。3年目には、ステップアップした課題整理をして、壬生野地域にとって一番良い方法(地域防災計画)を考えていきたい。」と挨拶がありました。



川口先生からは“災害列島日本”のお話があり、「日本の国土は38万km²で、世界の陸地面積の0.25%しかない。同様に人口はわずか1.75%となる。過去に10年間でM6以上の地震発生回数が、世界全体で約1600回に対し、日本では300回発生。また、過去30年間の年間平均台風発生件数は25.6個で、日本接近数は11.4個と非常に多くの自然災害が発生している。昭和34年の伊勢湾台風の教訓から、昭和36年には災害対策基本法が制定され、阪神・淡路大震災と東日本大震災により法改正が行われ、自主防災の意義が大きくなった。私たちは正常化バイアスにとらわれず自然災害を正しく理解して、災害から命や財産を守る方法を身につけなければならない。」と講演がありました。

【講演会参加者のアンケート結果】

- ① これまでに防災講演会に参加されたことはありますか? ・ある 48%、 ・ない 52%
- ② ①であると答えられた方の回数は? ・1回 18%、 ・2回 9%、 ・3回以上 73%
- ③ ①であると答えられた方の内容は? ・地震 31%、 ・土砂災害・台風 21%、 ・火災 18%、
・避難・救護 24%、 ・コミュニティ 3%、 ・図上訓練 3%
- ④ 防災を考えるうえ大切なことは? ・自然災害の知識 15%、 災害に対する備え 21%、
・情報収集 9%、 避難場所の確認 16%、 防災訓練参加 16%、 地域のコミュニティ 23%
- ⑤ 今日の講演で心に残ったことは? 自分たちでつくる自主防災。地域・地形にあった避難経路。
避難訓練の掘り起こし。コミュニティの構築。自分のこととして考える。安否確認が最重要。
- ⑥ 今後の壬生野地域での取り組みは? 防災意識の改革。避難状況の情報共有。地域全体の訓練。
全ての人まちづくりに参加すること。災害のシミュレーション。地域でのコミュニティづくり。

中部管区警察局長表彰を受賞しました



10月9日(金)、伊賀市役所において壬生野地域まちづくり協議会が中部管区警察局長及び、中部防犯協会連絡協議会長の連名表彰を受けました。今回の表彰は、青色回転灯装着車による防犯パトロールを15年に亘り継続して実施していることによるものです。この活動については、平成18年・令和2年に伊賀警察署長表彰、平成21年に三重県警察本部長表彰を受賞しています。表彰式に出席した亀井会長は、この受賞を機に、心を新たに、防犯活動に取り組んでいきたいと意気込みを述べました。

希望ヶ丘区で介護予防体操が開催されています



10月6日(火)午後1時から、介護予防体操が行われました。いつまでも元気に生活を送るための活動です。

何をしたいのか解らない、一人ではおっくうで続かないといった高齢者を住民主体の取り組みで、元気にすることが目的です。

内容は、ストレッチ・脳の活性化を図る体操・リズム体操などがありました。参加をしてみると頭も使うし、運動量もありました。

いつまでも元気に生活をして家族の世話にならないように介護予防体操を続けて下さい。

開催日 毎月第1火曜日 午後1時～2時

《投稿者 希望ヶ丘区長》



pixta.jp - 58870466

*コミュニティ壬生野は、壬生野地域まちづくり協議会HP(www.mibunet.net)で創刊号よりご覧いただけます。

◇◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せください。 ◇◇◇◇

壬生野地域まちづくり協議会 広報誌事務局 TEL:45-8900

